

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587034601	科目番号 / Subject code	05870346
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	グローバル社会へのパスポート (企業の国際展開とグローバル人材育成)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	源島 福己		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	源島 福己		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	源島 福己		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2,3,4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	genjima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:10 ~ 17:40		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	グローバル化に対応して生き残りを賭けた海外進出を進めている日系企業の多くは、これまで何をきっかけとしてどのような国際化を図ってきたのか、またその中でどのような人材育成を行ってきたのかを辿る。グローバル化に対応した変容を迫られるこのような企業の歴史や現在を通して、グローバルな企業として生き残るための戦略とは何かを考え、将来自分がそのような職場で働く際に求められる教養や能力、専門知識等を理解する。高度な英文の資料を使った課題も多いので、英語の理解にかなりの時間を使うことから、グループでの協同が必要となる。		
授業到達目標/Goal	企業の国際化がどのような環境の変化に応じて発生し進展してきたか、またそのような変化の激しい社会の中で生き残るために必要とされる人的資源は、どのように教育され確保されてきたのかを理解し、将来自分がそのようなグローバル環境や組織で働いてみたいと思った時に必要な力としての英語力、基礎学力、コミュニケーション力や人間関係構築力の向上に取り組む姿勢の変化をもたらす。		
授業方法 (学習指導法) /Method	パワーポイントを使った講義を中心に、DVD等を教材として使用する。また各テーマについて、講義の後でグループディスカッションを行い、その内容についてプレゼンテーションを実施する。また授業内容の理解を深めるために、各テーマに対して適宜簡単な理解度テストを行う。前もって指定されたテーマについて学生が授業中に発表し、内容について質疑応答することもある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	グローバル化、グローバル人材、人材育成		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。 参考図書: 「日本企業の国際化」大石芳裕編著 「The Global Challenge, International Human Resource Management」Paul Evans et al		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席を前提としたグループワーク参加10% レポート 70% 小テスト20%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	グループワークに積極的に参加し、かなり高度な英語の文章に取り組む意欲を持っていること		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10月1日(木) 授業のオリエンテーション(授業内容、進め方、成績評価等)、自己紹介、グループ分け&アイスブレイク、自己紹介		
第2回	10月8日(木) グローバル化とグローバル社会		
第3回	10月15日(木) 日本企業の国際化		
第4回	10月22日(木) 日本企業の国際化		
第5回	10月29日(木) 日本企業の人材教育		
第6回	11月5日(木) 日本企業の人材教育		
第7回	11月12日(木) 中小企業のグローバル化		
第8回	11月19日(木) 中小企業のグローバル化		
第9回	11月26日(木) 日本企業の特徴		

第10回	12月3日（木）日本企業の特徴
第11回	12月10日（木）日本企業の現在
第12回	12月17日（木）企業文化
第13回	12月24日（木）CSRと企業倫理
第14回	1月7日（木）日本企業の現在と未来
第15回	1月14日（木）まとめ
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587034901	科目番号 / Subject code	05870349
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	グローバル社会へのパスポート (世界人口の動向と国際開発)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松村 真樹		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松村 真樹		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松村 真樹		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育, 経済, 薬学, 水産		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	国際教育リエゾン機構教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2253		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜16:30 ~ 17:30, 又はメールによるアポイントメント		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本や欧州のみならず, アジア諸国においても急速な少子高齢化が進む昨今であるが, その一方で, 高い人口増加率が依然として続いている開発途上国もある。人口の動向を見ることによって, 世界の多様性が見えてくる。同時に, 過剰都市化, 環境問題, 児童労働, ジェンダー格差, そして貧困層など, ささまざまな課題も浮き彫りになる。この授業では, 人口学的視点から国際社会の変化と多様性について理解を深めます。		
授業到達目標 / Goal	1) 死亡, 出生, 移動に関する人口データの意味を読み取ることができる。 2) 人口転換について, 特に先進国と途上国の人口転換の違いについて説明することができる。 3) 人口動態に影響を与える要因について, 社会・経済・文化的背景に関連付けて説明することができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義と演習によって, 人口学の基礎概念や人口統計について学びながら, 実際の国や地域の人口状況を把握する方法を習得する。		
授業内容 / Class outline / Con	世界人口の動向を理解するために欠かせない, 人口転換, 人口構造, 出生率, 死亡率, 人口移動などの基本概念について学ぶ。さらに, それらを使って世界人口の現状を説明する能力を養う。また, 変化する人口動態の背景にある社会・経済・文化的要因について考察する。		
キーワード / Key word	人口転換, 経済発展, 社会変容		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	人口統計資料のコピーを配布します。 以下は入手が簡単な参考書です。 河野綱果 『人口学への招待 少子・高齢化はどこまで解明されたか』 (2007, 中公新書) 大泉啓一郎 『老いてゆくアジア 繁栄の構図が変わるとき』 (2007, 中公新書)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業中の演習及びクイズ (40%) 期末試験 (30%) カントリー・レポート (30%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	演習やレポートに積極的に取り組む受講生を求む。		
学生へのメッセージ / Message for students	外国のニュースを見たり, 英字雑誌・新聞を読むなど, 日ごろから海外事情に興味を持つようにしましょう。LACSの利用方法に慣れておくこと。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	人口を知ると何がわかるか?		
第2回	さまざまな指標で見る世界人口の現状		
第3回	人口構造の国際比較		
第4回	人口転換論		
第5回	出生率の計算方法と規定要因		
第6回	出生状況の国際比較		
第7回	死亡率低下の歴史的推移と地域格差		
第8回	生命表の見方と平均寿命		
第9回	国内及び国際人口移動の理論と現状		
第10回	途上国における都市化と貧困		

第11回	人口高齢化
第12回	人口増加と経済発展の関係
第13回	人口増加と環境・資源
第14回	各国の人口政策
第15回	まとめ
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587035301	科目番号 / Subject code	05870353
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	グローバル社会へのパスポート (英語で学ぶオランダと西欧の文化)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 龍		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 龍		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 龍		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生(クラス等) / Object Student	多文化・教育・経済・薬学・水産		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本とオランダとの交流が江戸初期から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、西欧の歴史的・文化的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の習得と文化理解を目的とします。現在の国際社会において公用語である英語で講義を提供します。		
授業到達目標/Goal	英語でオランダと西欧の歴史と文化、または、日蘭交流についての基本的な知識を習得します。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式 この講義の為に作成した資料や視聴覚教材(Powerpoint)を利用して、世界史が得意ではない学生にも、より分かりやすく、オランダと西欧の文化と歴史を紹介します。		
授業内容/Class outline/Con	ローマ時代から現在までの歴史の出来事を説明しながら、オランダと西欧の発展を理解させます。オランダを知ることで、西欧の文化の発展も理解することができます。		
キーワード/Key word	英語・歴史・国際理解・比較文化・日蘭交流・蘭学・文化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材・プリント教材 毎回配布します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、定期試験50%、出席・授業態度40%、英語でのレポート(発表)10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則		
学生へのメッセージ/Message for students	英語での講義を受ける抵抗もあると思いますが、講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、英語能力はアップし、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ローマ帝国時代 西欧でのキリスト教の布教		
第2回	カール大帝とカロリング(フランケン)帝国 十字軍 オランダ語文学の誕生		
第3回	ホーランド州の発展 中世末期の危機 北ヨーロッパのハンザ貿易		
第4回	スペインとポルトガル、大航海時代 エラスムスとルネサンス カール5世と神聖ローマ帝国		
第5回	マルティン・ルターとプロテスタントの宗教革命 オラニエ公ウィレム1世とオランダの独立		
第6回	ネーデルランデン7州連邦共和国 15・16世紀の美術		

第7回	オランダ東インド会社の創立 日蘭交流、平戸・出島
第8回	オランダの黄金時代 17世紀の美術
第9回	奴隷制 啓蒙思想時代とフランス革命 ナポレオン時代
第10回	オランダ王国 ベルギーの独立
第11回	産業革命 年少労働 女性権利 印象派とフィンセント・ファン・ゴッホ
第12回	第一次世界大戦 1930年代の世界恐慌 De Stijlの美術
第13回	第二次世界大戦 冷戦時代 20世紀のオランダ
第14回	現在のオランダ 宗教と伝統・祭り・自転車の王国・など
第15回	現在のオランダ 教育とスポーツ・政治・食べ物とお菓子・など 講義の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587035701	科目番号 / Subject code	05870357
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	グローバル社会へのパスポート (国際援助と公的部門の役割)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平岡 久和		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	平岡 久和		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	平岡 久和		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hiraokah@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 (坂本キャンパス グローバルヘルス総合研究棟)		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895		
担当教員オフィスアワー / Office hours	主に10-17時 (面談時は電話やメールで確認ください)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	第二次世界大戦後の戦後賠償と関連付けられて開始された日本の政府開発援助 (ODA) の歴史と現状、その仕組みを概観し、日本の公的部門による開発援助を理解する。加えて、国際社会の政治・経済、開発援助の歴史を追うことで、現在の国際関係を理解する一助とする。		
授業到達目標 / Goal	日本政府及び国際機関といった公的部門が主体として実施している国際的な開発援助の現状を理解し、考察が加えられるようになる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義が主体となるが、何回かの講義では、自らの考え方をレポートとしてまとめることがある。		
授業内容 / Class outline / Con	日本の現代史の教育課程ではほとんど取り上げられないが、国際社会では常に重要なテーマになっている開発援助、紛争、貧困などのテーマについて、その歴史的、理論的な展開を概観する。		
キーワード / Key word	開発援助、政府開発援助 (ODA)、国際協力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	講義の中で適宜参考書を紹介 【全般的な参考書】 ・政府開発援助 (ODA) 白書 日本の国際協力：外務省ウェブサイトからダウンロード可能 ・国際協力機構年報：国際協力機構 (JICA) ウェブサイトからダウンロード可能		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教員の指示で複数回提出する課題レポート (50%)、最終考課結果 (50%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	対象学生であること		
学生へのメッセージ / Message for students	普段は接することが少ない内容ですが、少しでも自身との接点を見つけてもらい、身近に感じてもらえればと思います。		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	シラバス、学習評価等についての説明及び導入講義		
第2回	政府開発援助 (ODA) の仕組み (その1)		
第3回	ODAの仕組み (その2)		
第4回	第二次世界大戦後の復興と開発援助		
第5回	日本のODAの拡大期		
第6回	冷戦終了後の世界～人間の安全保障～		
第7回	世界的協調による開発援助		
第8回	アジアにおける開発援助		
第9回	開発援助に参加するとは～さまざまな参加方法～		
第10回	開発援助に参加するとは～青年海外協力隊 (JOCV) 等の活動から学ぶこと～		
第11回	日本人の海外移住と開発援助		
第12回	不平等とは		
第13回	中近東における開発援助		
第14回	開発援助と大学、NGO、民間企業の活動～公的部門との連携		
第15回	これからの世界と開発援助		
第16回	最終考課		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587036101	科目番号 / Subject code	05870361
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	グローバル社会へのパスポート (異文化接触とコミュニケーション)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松本 久美子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松本 久美子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松本 久美子		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教養教育棟 (環境科学部) 2階国際教育リエゾン機構松本研究室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では文化的背景が異なる人とのコミュニケーションについて学びます。近年、異文化コミュニケーションや多文化共生という言葉は経済のグローバル化の進展によって、ごく日常的なものになりました。しかし、日本の社会が多様性を受け入れ、文化的に異なる人たちと共に生活できる社会になったかという、まだまだ難しい状況だと言わざるを得ません。長崎大学には現在約420名の留学生がいます。また、短期語学研修や交換留学制度を利用して、海外の協定校へ留学する在学生も増えています。授業では、まず、皆さんにとって身近な留学生との関わりについて考えることを糸口として、異なった文化・社会・価値観を持つ人々を理解し、よりよいコミュニケーションをするための態度とスキルについて学びます。		
授業到達目標/Goal	異文化摩擦場面において、摩擦の原因を客観的にとらえ、理解し、適切に行動できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	タスクを課し、ペアワーク、グループワークによる作業を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	異文化接触、異文化コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書・教材：適宜配布 参考書：『異文化コミュニケーション入門』池田理知子・E.M.クレマー著 有斐閣アルマ 『異文化トレーニング ポーダレス社会を生きる』八代京子他 三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業参加度 (授業内の課題を含む) 40%、ミニットペーパー10%、レポート50%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	週平均2時間以上		
学生へのメッセージ/Message for students	授業への積極的な参加が求められます。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	アイスブレイキング		
第3回	文化とは何か		
第4回	異文化摩擦(1)		
第5回	異文化摩擦(2)		
第6回	異文化接触 (異文化コミュニケーションゲーム)		
第7回	体験学習について		
第8回	言語によるコミュニケーション(1)		
第9回	言語によるコミュニケーション(2)		
第10回	言語によるコミュニケーション(3)		
第11回	インタビュー		
第12回	非言語によるコミュニケーション(1)		
第13回	非言語によるコミュニケーション(2)		
第14回	カルチャーショックと異文化適応		
第15回	まとめ		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587036601	科目番号 / Subject code	05870366
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	グローバル社会へのパスポート (グローバルな健康問題を取り巻く世界情勢)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松山 章子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松山 章子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松山 章子		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育学部、経済学部、薬学部、水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	akikomata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	国際健康開発研究科 (坂本キャンパス)		
担当教員TEL / Tel	095-819-7893		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時 (メールで予約してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	地球規模、特に低・中所得国の健康問題に関して、社会、経済、文化的背景を踏まえて現状を理解し、地球市民としてどのような貢献ができるかを多角的視点から考えるための基礎知識を身につけることを目指します。グローバル社会の中における共生をテーマに、グローバル・ヘルスの問題を解決するために、国連、政府開発援助組織、NGO、民間企業等多様な組織が取り組みを行っています。学生個人が現在、そして将来、これらの組織の一員、あるいは一市民としてどのように協働していける可能性があるかを主体的に考える機会を提供します。		
授業到達目標 / Goal	1) 国際社会における地球規模健康 (グローバル・ヘルス) 課題の現状を理解する。 2) 地球規模健康課題を克服するためのプロジェクトの立案を経験する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義、DVD視聴等を中心としますが、基礎知識の習得のプロセスを通じて、自ら批判的眼を養いつつ、現実的課題の克服のための対策立案能力を涵養するために、グループ・ディスカッション、グループ・ワーク、プレゼンテーションなどを取り入れます。		
授業内容 / Class outline / Con	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに：授業のねらいと内容、課題についての説明</li> <li>2. 国際開発とミレニアム開発目標－貧困とは何か</li> <li>3. 生存のための人間開発－飢餓と栄養不良</li> <li>4. 生存のための人間開発－子供と女性の健康</li> <li>5. 生存のための人間開発－世界の3代感染症 HIV/エイズ、結核、マラリア</li> <li>6. 生存のための人間開発－水と衛生</li> <li>7. 成長のための人間開発－教育</li> <li>8. 成長のための人間開発－ジェンダー</li> <li>9. 国際開発のパートナーシップ</li> <li>10. 支援から協働へ－マイクロ・ファイナンス</li> <li>11. 支援から協働へ－企業の貢献と社会的責任</li> <li>12. 支援から協働へ－BOPと社会起業</li> <li>13. ディスカッション及びグループワーク</li> <li>14. グループ・ワーク発表</li> <li>15. グループ・ワーク発表</li> <li>16. グループ・ワーク発表</li> </ol>		
キーワード / Key word	地球規模健康課題、グローバル・ヘルス、支援、援助、共生、協働		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	必要な資料、教材を適宜配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	アンケート、クイズなど グループワークへの参加と発表 個人レポート		
受講要件 (履修条件) / Requirements	モジュール「グローバル社会へのパスポート」を受講した学生		